

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

### はっぴいイースター in 宝塚

～キリストの愛をあなたに～

4/13 (土) 14:00～ 入場無料

音楽ゲスト: 吉村美穂さん(クリスチャンシンガー)  
イースターの時期に、ゲストをお呼びして、お話を聞いたり音楽を楽しんだりしています。今年は、吉村美穂さんの歌声に耳を傾けます。あなたもイエス・キリストの愛に触れてみませんか。

【プロフィール】  
岐阜県出身。立命館大学法学部卒業後、京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。ロータリー財団の奨学金を得て、ウィーンに留学、グラーツ国立音楽大学(オーストリア)リート・オラトリオ科修了。ウィーンを拠点とするアーノルド・シェーンベルク合唱団の正団員として、ウィーンフィルやベルリンフィルと世界各地でオペラやコンサート活動をする傍ら、ソリストとしても研鑽を積む。2006年に、クリスチャンシンガーとしての活動を開始。

現在、国内外のキリスト教会をはじめ、病院、教育機関、施設などで、賛美コンサートを開催している。CDを8枚、オリジナル楽譜集を発売している。歌の学校コアシュレ講師。滋賀県下のゴスペル教室講師。京都平安女学院中学高校コーラス部コーチ。

### 賛美歌誕生秘話 「イエスの御腕に」

3月は卒業・卒園のシーズン。教会のデイサービスにも、近くの保育園から卒園を目前に控えた子どもたちが訪問して、ご利用者の方々に大変喜んでいただきました。

聖書の中には、こう書かれているところがあります。「『まことに、あなたがたに言います。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。』そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。」

この聖書の言葉から生まれたのが賛美歌「イエスの御腕に」です。作詞をしたファニー・クロスビー(1820~1915)は、アメリカの「会衆賛美の母」と呼ばれるほど、数々の賛美歌を世に送り出した人物です。生後間もなく失明し、盲目でありながらも、なんと八千以上もの詩歌を書いたのです。そんな彼女には、一つの辛い過去がありました。それは、最愛の我が子を失うという経験でした。この悲しい出来事から10年ほど経ったある日、彼女の元に知人の音楽家が訪ねてきました。彼は、「私は次の電



### イースター礼拝

4/21 (日) 10:30～

復活されたイエス・キリストを記念して礼拝をささげます。どなたでもお越しください。聖歌隊の賛美があります。



### スプリング・イースター・コンサート

4/28 (日) 15:00～ 入場無料

演奏: 藤丸麗さん(ピアノ)

毎年春にめぐってくるイースター。イエス・キリストが墓から復活されたことを喜び祝うこの時、ピアノの演奏を通して神様の祝福を知っていただきたいです。

【プロフィール】  
1997年、相愛大学音楽学部ピアノ科首席卒業。東京読売新人演奏会、関西新人演奏会出演。2000年、ポーランド・ワルシャワ・ショパンアカデミー研究科最優秀卒業。在学中より国内外でコンサート活動、オーケストラとの競演、国際コンクール優勝、入賞、多数。ポーランド・プシェミシル・アルトゥール・マラフスキー音楽院の教諭を務める。



### 十字架に現れた神の愛

春らしくなってきました。春と言うと、キリストの受難と復活を思い浮かべます。

イエス様は、十字架につけられる前の夜、ゲッセマネの園でユダヤ人の指導者たちに捕らえられ、初めから死刑に処することを目的とした、徹夜の裁判を受けられました。

翌日、イエス様のその疲れきった体に鞭が当てられました。そして、皮膚が破れ、肉が裂けてズタズタになった背中に、ささくれた荒削りの十字架が背負わされ、ゴルゴタと呼ばれる処刑場まで歩かされました。途中でイエス様は、衰弱と傷の痛みで何度も倒れたと言われています。

そして、ついにイエス様は十字架につけられました。左右に強盗たちも一緒に十字架につけられました。イエス様は、犯罪人の一人に数えられて、十字架刑に処せられたのです。

イエス様は、何の罪も犯さないお方だったのに、なぜ十字架の苦しみを受けられたのでしょうか。それは、私たちの身代わりだっ

たのです。

私たちは、天地を創造された真の神様を知らず、神抜きの自分勝手な生き方を続けてきました。神様から遠く離れた存在だったのです。これが聖書の言う罪です。その罪のために、私たちは滅びなければなりません。

しかし、愛なる神様は私たちが滅びるのを忍びないと思われ、イエス様をこの世に送り、十字架につけてくださいました。イエス様は当時のユダヤ人指導者層の妬みを買って十字架刑に処せられたのですが、実は、罪人の私たちに罪から救うための、神様のご計画だったのです。神様は、それほど私たちに愛してくださったのです。

聖書の言葉。「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙5章8節)十字架に現れたこの神様の愛を、あなたもお受け取りになりませんか。

車に乗るのに、わずか40分しか時間がないのですが、あなたにぴったりのメロディーが生まれました」と言い、その場でメロディーを口ずさみました。彼女は、これを聞くと、すぐに隣室に行き、床にひざまずき祈りました。「神よ、このメロディーに、速やかに詩をお与えください。」その後30分も経たない内に、彼女の心に上述の聖書の言葉と詩歌が与えられました。

彼女の死後100年以上経つ今日も、賛美歌「イエスの御腕に」は人々の口に親しまれ、確かな慰めを与えて続けています。

- 1. イエスの御腕に その御腕に  
静かに憩う われは安し  
天つ使いの 歌の声も  
心に近く 聞こゆるなり
- 2. イエスの御腕に 抱かれるれば  
罪の力も 何かはあらん  
疑いもなく 恐れもなく  
悲しみすらも 深くあらじ
- 3. イエスは常世の 岩にませば  
生ける限りは 頼らまほし  
栄え輝く 国に覚むる  
常世の朝を 待ちわびつ

INFORMATION  
第3回バザー 5月26日(日) 今からご予約ください。

ピアノ教室・リトミック教室 始めています。  
お問い合わせ: 藤丸麗 (080-3777-3766)

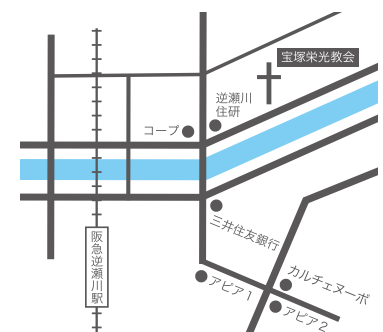
## 宝塚栄光教会 牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル  
毎週更新、24時間つながります。  
0797-77-3746

ポッドキャストでも配信!  
ホームページから利用できます。  
礼拝 毎週日曜日  
10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



## 「 幻の花 ―オキナグサー」

3月 少し暖かな陽のぬくもりに 胸をなでおろす 昨今である  
春の陽光を好む植物には 待ちこがれた季節になった  
長野県塩尻市にある里山 <sup>きりとうやま</sup>霧訪山に自生するオキナグサは  
そろそろ 咲き始めているだろうか  
静かな里山は 透明な風と 土のおいで迎えてくれた  
木々は しなり声をあげるが 鳥のさえずりが 楽しい

オキナグサは 万葉集では ネッコグサという名で 歌われ  
古くから 日本の野山に 自生していた  
近年 開発や採取のため 絶滅の危機に瀕している

花は うつ向きながら 開いていく  
少しずつ 少しずつ 上向きになって 真上を向くようになると 咲き終わる  
花が終わって 種をつけると 種の一粒一粒の先端に  
2cm位の 白い 糸状の綿毛をつける  
この様子が 白髪のように見えることから 翁草と呼ばれる  
宮沢賢治の童話「おきなぐさ」では 「うずのしゅげ」と呼んでいた  
"うず"とは "おじいさん" "しゅげ"とは "ひげ"なのだ

やさしい若い花 やわらかい花と 賢治は言う  
花は 10cmほどの丈で 花の後 霧が白い綿毛に露となり 光って輝くのだ  
そのころ 花茎は30cmぐらいに伸びて  
やがて 綿毛は 風に乗って 散っていく  
オキナグサは 岩場や 荒れ地などを好んで 根を下ろすという

乾いた地に埋もれた  
根から生え出た 若枝のように  
この人は 主の前に育った  
イザヤ53章 (聖書)